

環境の都ニュース

2017.1.1 NO.90

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：江川 宗治

編集者：安楽 裕子

謹賀新年

「この地をば いのち溢れる まほろばに
黎明の頃 鶏鳴響く」 日出男

丁酉（ひのととり）の年が明けました。酉年の「にわとり」は夜明けのあかつきの静寂を破り一番に鳴きます。だから縁起が良いとされています。みなさんは一番に何をされましたでしょうか。

1月は「長岡京市環境の都づくり会議」が設立された記念すべき月です。今年の1月20日で満15年になります。15歳です。15歳のことを「志学」とも言います。中国の孔子は15歳の頃から真剣に学問を志されたようです。我々が会議も環境への学びを一層深めて、活動に活かして参りたいものです。

この会議が産声をあげた15年前は、5月31日に京都議定書がやっと日本でも国会で承認され、国際連合に受諾書を寄託しました。また、同年8月にはヨハネスブルグにおいて開催された世界首脳会議で日本が「持続可能な開発のための教育の10年」を提唱し、12月の第57回国連総会本会議で採択されました。

その後も地球温暖化は進行して地球は危機に瀕していますが、昨年11月には既定の55か国以上が批准し、「パリ協定」が発効に至りました。これは、世界の平均気温上昇を2度未満に抑えることに向けて、世界全体で今世紀後半には、人間活動による温室効果ガス排出量を実質的にゼロにしていく方向を打ち出したものです。画期的です。

とは言うものの、最近の世界のポピュリズム的傾向が「グローバル」の均衡を危うくするなど、まだまだ課題は山積しています。しかし、生命のふるさとである地球を「まほろば」（素晴らしいところ）にするために、身近な地域をまず「まほろば」にしていく活動を、様々な団体や組織と連携しながら地道に継続して参りたいと思います。

長岡京市環境の都づくり会議 副代表 西村日出男



竹あそび2016
里山再生市民フォーラム展示

新春 クロスワードパズル

- A~Fを並べ替えると歴史上の人名になります。
- ヒント：NHKさん。この方は男ですか？女ですか？

	1		2	3	
4	A		5		
		6			7
8	9	B			
10	C		D		
11E				12F	

ヨコの鍵

1. 東北地方が主産地の稲
4. これを立てるし、これが効く
5. べろ
6. 「もったいない」を世界に広めた
8. 夜空の星がよく見えます
10. 小さなこれから、戦争になる
11. 故人の残した教え
12. 糸や薬などをより合わせる

タテの鍵

1. 細長い棒。釣りに船をこぐにも使う
2. 長岡京市の里山公園
3. 随行する
4. これで写真が上手く撮れる
6. 電話が初めて通じました
7. 森や林の産物を運ぶために作られた
9. 首都はバクダット

クロスワード・パズル解答の応募先は、江川（裏面参照）まで

作：西村日出男

日時：平成 29 年 1 月 19 日 (木) 夜 6 時 30 分～

参加無料

会場：多世代交流ふれあいセンター(長岡京こらさ)2階 市民活動オフィスフロア

講師：西村日出男(長岡京市環境の都づくり会議・副代表)



内容：2002 年 5 月に「環境教育プロジェクト」を立ち上げ、先の小さなサポートセンターの一室で第 1 回「環境教育ミーティング」を開催しました。その年の 12 月に第 57 回国連総会本会議において、日本が提案し、2005 年から 2014 年までの 10 年間で国連「ESD(持続可能な発展のための教育)の 10 年」とすることが採択されました。その後は GAP(グローバル・アクション・プログラム)が理念を受け継いでいます。そこには優先行動分野の一つに「ESD への地域コミュニティの参加の促進」が謳われています。その意味で「環境教育ミーティング」は ESD&GAP と共に歩んでいると思います。

ビオトープ PJT

長法寺小、小泉川ですくすく教室

PJT リーダー 小根田 勝信



9 月 24 日(土)、小泉川西代橋の 100m ほど上流で 4～6 年生児童 16 名が参加して川遊びを実施しました。数日前の大雨で、増水と濁りが心配でしたが、天候にも恵まれ、楽しい一時を過ごして頂きました。当日の街中の気温は 25℃ほどでしたが、現地では上流に進むにつれ気温が下がり、足を踏み入れた川辺では 20℃に。水温を測ると 18℃で、かなり冷たく感じました。何時ものように、早速、サワ

ガニや小魚捕りに歓声が響き、魚釣りではかわいいカワムツも数匹ゲット。メンバー手作りの竿にぶら下げたペットボトルが 1m ほどの段差を流れる水の流れで跳ね上がる様子に“おー”という感嘆の声。一寸した理科の勉強もして貰いました。

日常を離れた川遊びは大人にとってもリフレッシュできます。

みなさんも是非ご参加ください。



竹林再生 PJT

神足小、金ヶ原いこいの森ですくすく教室

PJT リーダー 湯川圭造



10/15、秋晴れの下、23 名の子ども達と 8 名の保護者、スタッフが参加して、すくすく教室を実施しました。まず私達ボランティアの取組みをお話しし、4 つの班に分かれて、自然の中の色んなお遊びに挑戦して貰いました。的当てゲームでは、4m 四方の大きなブルーシートに吊り下げた保護者手作りの鳥や動物の的をめがけて、竹製の弓矢と自然の木の又を活かしたゴムパチンコ(玉はドングリ)を放ちました。自然を活かした手作りフィールドアスレチックでは、滑車滑りや大型ブランコ、ネット登りを体験。急峻な竹藪歩きでは 150m 程の藪の道を協力しながら上り下りして自然探検を楽しみました。そして、当日一番の予定外の収穫は何と言ってもこれ。切り倒された竹を見た子供たちは、3 つのグループに分かれて隠れ家を作り始めました。自分たちのアイデアでモノづくりに取組む時の子供たちの目は生き生きして真剣そのもの。慣れない手つきで竹を切り、皆んなの思いをぶつけ合い、われわれスタッフも引き込んで竹の家を作り上げたその顔はみんな満足そのもの。スマホや TV ゲームでは味わえない、自然の中で自ら工夫して遊ぶことの楽しさを味わってもらえた事は何よりの収穫でした。

野外のすくすく教室の狙いはこれだ！と閃きました。

PJTリーダー 加藤克巳

マツボックリはよく見かけますが、ナンキンハゼ（白）、シャリンバイ（ぶどう色）、センダン（黄色）、ノイバラ（赤）、カラスウリ（赤）、マユミ（黄色）、アメリカフウ（茶色）の実をご存知ですか。

街路樹や河川敷に生えています。これがビックリポン、リースの飾り物によく合います。これらを使った自然素材のリースづくりは毎年好評で15年目になりました。

平成28年11月26日（土）、西代里山公園管理棟で今回は非対称形のリースに挑戦しました。今年（29年）もご期待ください。11月市民広報で募集します。



花を咲かそう PJT

緑のサポーター 16 名が

2016年11月12日 包囲される事態に！

PJT サブリーダー 奥西弘武



花の植え替えのため300株のパンジー苗を抱え体育館二階庭園に上がると、色とりどりの菊花が咲き乱れ、私たちを歓迎してくれました。信じがたいほどの胸に焼きつく光景でした。（写真を見回してください。）中央の3つの花壇を取り囲む枠状の花壇帯には宿根草の草花を栽培しています。これは手間や花苗の購入コストを削減する為に進めてきました。しかし3~4年も経つと花も萎縮してきます。昨年はすっかり衰えてしまいましたが。幸いにも関係団体から培養土の提供を受け、今年見事に復活したのです。その驚きと、感激はひとしおでした。菊さん見てよとばかり手際よくパンジーを植え終わり記念撮影をし、それぞれに花とハイタッチを交わし、公民館の花壇へと移動しました。公民館側では男性陣が事前に水仙などの球根（PJT自前の球根）を植え付けてくれているので、広場のベンチ横のフラワーポットと事務所前の花壇にパンジー60株を植えてこの半日作業の完了としました。



エコチーム PJT

家庭でできるリサイクル・環境あそび

PJTリーダー 田原誠一郎

エコチームでは、家庭で簡単にできる「リサイクル工作」シリーズを紹介しています。

第3回 使用済みペットボトルを使ったメリーゴーラウンド

- ① 350ml 位の使用済みペットボトルを用意します。
- ② 底の中央とキャップの中央に、2~3mmの穴を開けます。（注）
- ③ 2本の輪ゴムをつなぎ、一方の端にゼムクリップを引っ掛けます
- ④ もう一方の端に、誘導用の細い針金を引っ掛け、ペットボトルの外側から底の穴に通し、キャップの内側から穴に通し、キャップを閉めます。
- ⑤ 針金を外し、輪ゴムにクリップを引っ掛けます
- ⑥ 底のクリップをセロテープでペットボトルの底に固定します。
- ⑦ ペットボトルにシールやビニールテープを貼って装飾します。
ペットボトルの中にビーズを入れたり、外側に色テープをぶら下げたりしますと、回転したときにより一層きれいに見えます。
- ⑧ キャップ側のクリップを持ってペットボトルをぶら下げ、回転させます。

ペットボトル・ロメロ
使用後回収したペットボトルは、ジャージや手袋などの衣料品や、ペン、定規などの文房具、卵パックなど日用品に再利用されます。



（注）一寸くぎをガス等の炎で十分に焼き、押し付けるとプラスチックが溶けて、容易に穴が開きます（やけどをしないように注意）

うまく作るとすぐ早く回ります。誰が一番長く回せたかとか、何回転できたかなど家族で競争するのも面白いです。使用済みのペットボトルを捨てる前に、一度家族で工作を楽しんで下さい。



「ドンボ」をチップに有効活用

「ドンボ」、聞きなれない言葉ですが地元の人に聞けば200年前から乙訓地方で京筍を生産している竹藪で先止めをしている竹の事を言うと言われてきました。その竹材を焼却せずにチップや燻炭等に有効活用するため、乙訓2市1町の行政とJA京都が共同で国の助成金で大型のチップパーを購入されました。この事業に協力するため、私たち竹林再生PJTも多くのメンバーの協力を得て、6ヶ所の竹林で間伐した竹を搬出・納品し、12月9日現在で軽トラ22杯分に達しました。因みに、この「軽トラ」は行政の助成金で本年やっと念願かなって入手したもので、今回の作業には欠かせない力になってくれました。また、機動力のない他の市民団体にも広く使って頂くことで、活動の効率アップに繋がっています。今後も放置竹林の整備を行うにあたり、西山の環境保護と共に、地球温暖化防止の視点からも作業で排出する竹は極力焼却せず、色んな形で利活用することに努めて参ります。

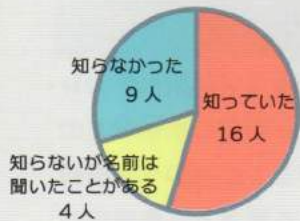
竹林再生PJT 渡辺節郎



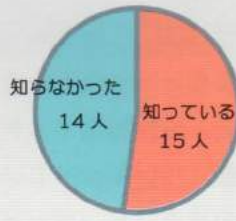
環境フェア2016 アンケート集計結果

回答総数 29名

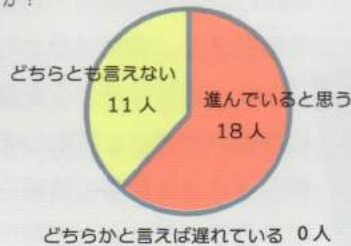
A. 長岡京市環境の都づくり会議という団体を知っていますか？



B. 長岡京市は平成21年4月に「環境の都」長岡京市都市宣言を行っているが、知っていますか？



C. 長岡京市は環境面の取り組みに進んだ都市だと思いませんか？



ミヤコちゃんのエコまねが
作：船越 聡

2017年 環境年間行事日程 直近版(1月~3月)

	共通、広報	環境教育	エコチーム(地球温暖化防止等)	里山再生・西山F環境探検隊	ビオトープ	竹林再生	花を咲かそう、等
1	環都ニュース発行(1/1) 環都新年会兼月例会議(1/10)	環境教育 Me(1/19)	エコチーム Me(1/17)	森林ボランティア(1/8) 森林ボランティア(1/15)	竹炭焼き(第2,4木曜) すくすく炭焼き(三小1/14、四小1/28)	竹林整備活動(第1,3月曜) 3PJT 合同会議(1/18)	
2	環都月例会議(2/14)		エコチーム Me(2/21)	西山F環境探検隊-4(2/5) 森林ボランティア(2/19)	竹炭焼き(第2,4木曜) すくすく炭焼き(十小2/4、長法小2/11)	竹林整備(第1,3月曜) 3PJT 合同会議(2/15)	みどりのサポーターの集い(2/)
3	環都月例会議(3/14) 15周年記念誌発行(3/20)	環境教育 Me(3/16)	エコチーム Me(3/21)	森林ボランティア(3/5) 森林ボランティア(3/19) 里山講演会(3/)	竹炭焼き(第2,4木曜)	竹林整備(第1,3月曜) 3PJT 合同年次総会(3/下旬)	「春の準備」緑サボ(3/)

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。問合せは下記の江川まで。
Tel.075-957-6169 E-mail egawam@kyoto.zaq.ne.jp

ホームページもご覧下さい。各PJTの活動内容と写真などがあります。「長岡京市環境の都づくり会議」で検索してください。
<http://kankyounomiyako.jimdo.com/>
事務所：多世代交流ふれあいセンター内
〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1

編集後記

私達はこの歴史の都、長岡京市を「環境の都」にしたいと活動しています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。クロスワードパズルの解答もお待ちしております。